

令和4年度 市政世論調査

報告書 概要版

この報告書概要版は、令和4年7月11日～令和4年7月25日にかけて実施した「令和4年度市政世論調査」の主な結果をまとめたものです。

< 目次 >

I. 調査の概要	1
II. 調査回答者の属性	2
III. 調査結果	4
1. 暮らし向きや居留意向について	4
2. 越谷市への愛着度と魅力発信について	5
3. 広報について	6
4. 市内の公共交通について	7
5. 景観（風景）について	8
6. 参加と協働のまちづくりについて	9
7. 地場農産物や地産地消について	10
8. 自殺防止について	11
9. 地域医療体制について	12
10. 人権全般に関する意識について	13
11. 男女共同参画について	14
12. 成年年齢引下げについて	16
13. 防犯カメラについて	17
14. スポーツ・レクリエーションの実施状況について	18
15. 芸術文化活動について	19
16. 介護サービスについて	20
17. 子育て支援について	21
18. 自治会について	22
19. 越谷市の施策について	24

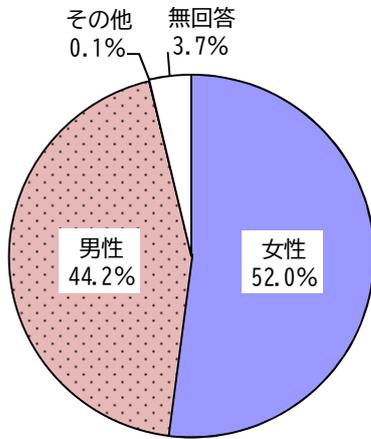
I. 調査の概要

- ◆ 調査地域：越谷市内全域
- ◆ 調査対象：市内在住の18歳以上の男女5,000人
- ◆ 抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出
- ◆ 調査方法：郵送法（郵送配布－郵送回収あるいはインターネット回収）
- ◆ 調査期間：令和4年7月11日～令和4年7月25日
- ◆ 回収結果：有効回収数 2,717人 回収率 54.3%

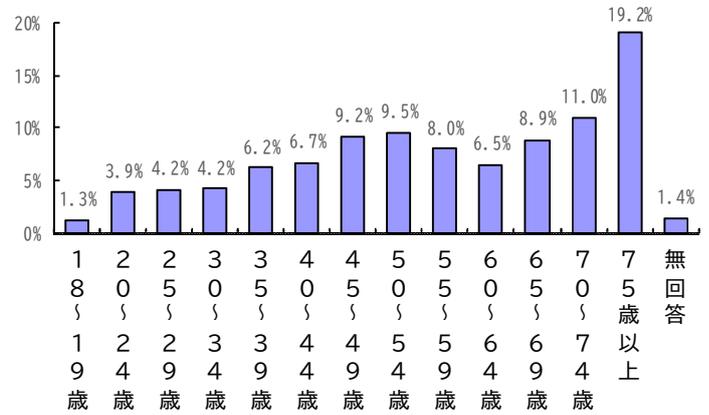
II. 調査回答者の属性

回答者の属性は以下の通りである。

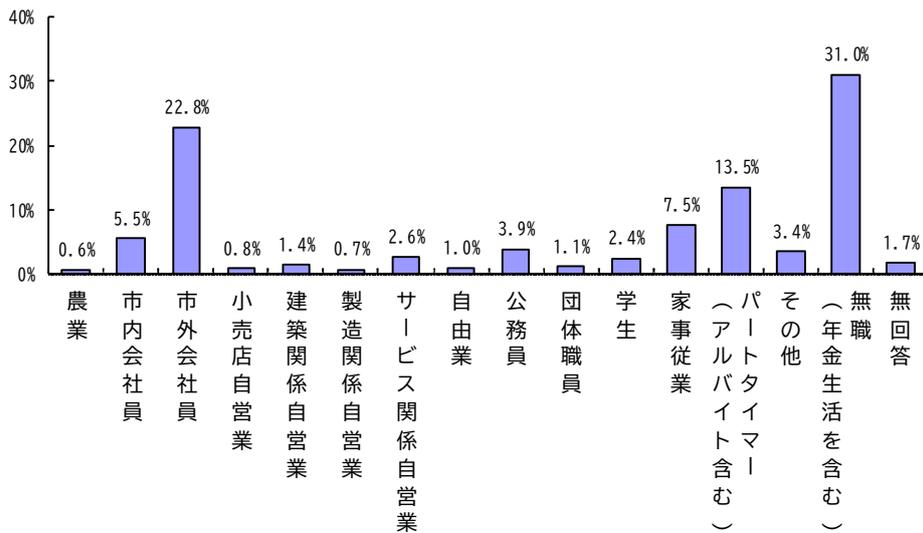
◆性別 (n=2,717)



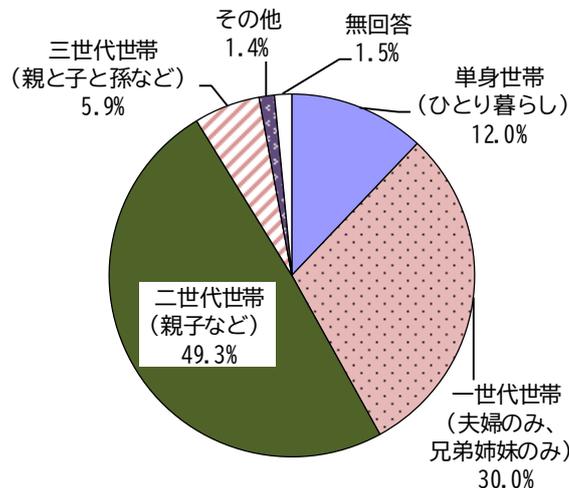
◆年代 (n=2,717)



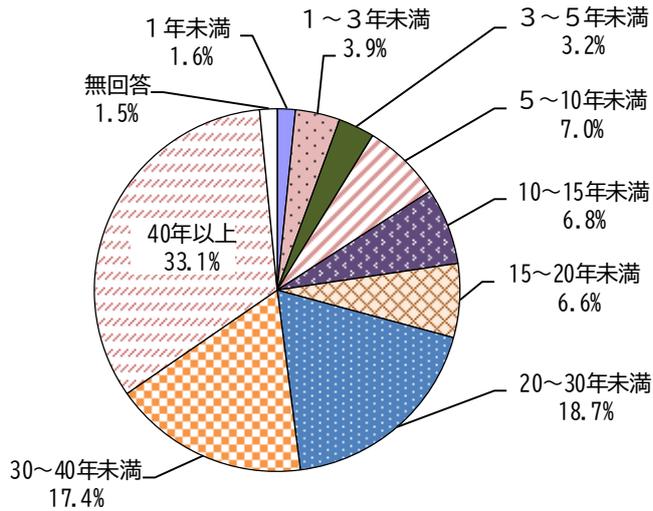
◆職業 (n=2,717)



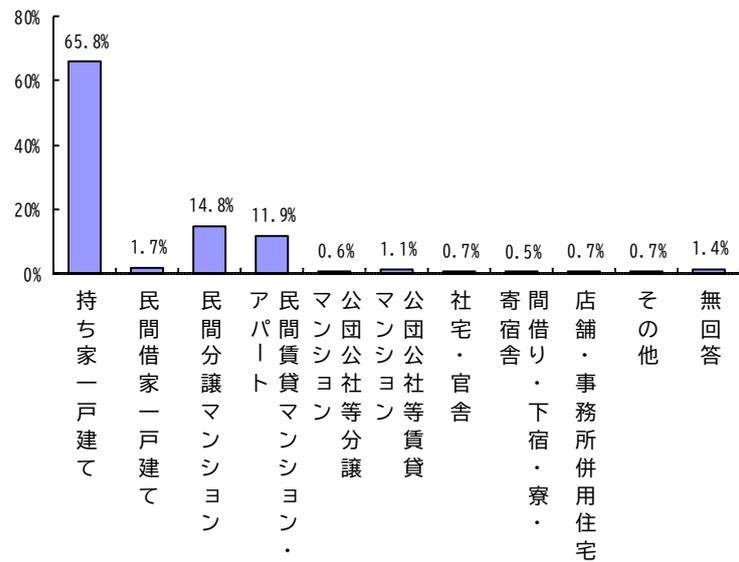
◆世帯の状況 (n=2,717)



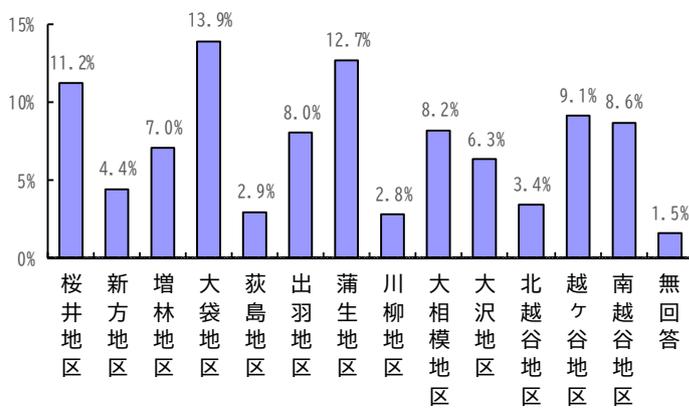
◆居住年数 (n=2,717)



◆居住形態 (n=2,717)



◆居住地区 (n=2,717)



Ⅲ. 調査結果

1. 暮らし向きや居住意向について

- 現在の暮らし向きは、『満足』（「十分満足している」と「十分とはいえないが、一応満足している」の合計）が5割半ば。
- 『定住意向』（「ずっと住みたい」と「どちらかといえば住みたいの」合計）は7割半ば。
- 『転居意向』（「どちらかといえば引っ越したい」と「引っ越したい」の合計）は1割半ば。その主たる理由は、「付近の生活環境が悪いので」が1割強で最も多い。

図 1-1 現在の暮らし向き (n=2,717)

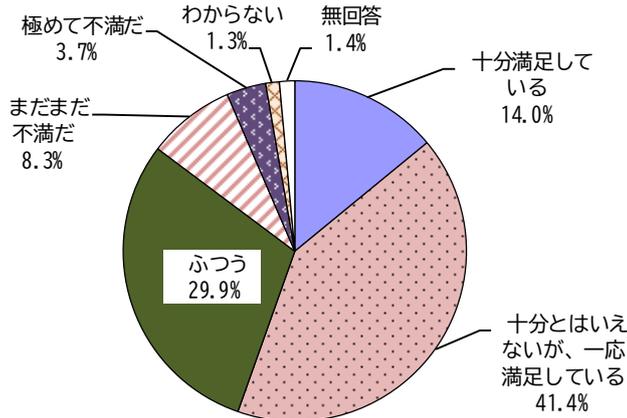


図 1-2 居住意向 (n=2,717)

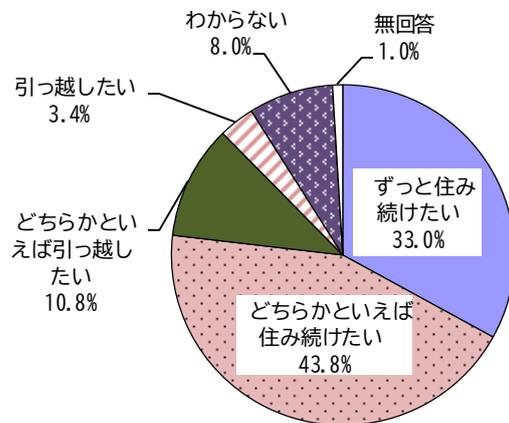
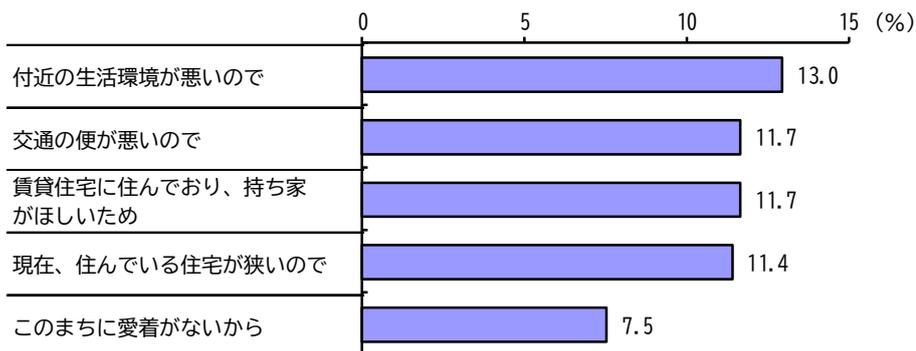


図 1-3 転居意向の理由 (上位5項目) (n=386)



2. 越谷市への愛着度と魅力発信について

- 越谷市への愛着は、『愛着がある』（「とても愛着がある」、「愛着がある」、「やや愛着がある」の合計）が7割半ば。
- 愛着がある理由は、「交通の利便性がよく、都内等に近い」が約7割で最も多い。
- 越谷市の誇れるものは、「イオンレイクタウン」が7割弱で最も多い。

図 2-1 越谷市への愛着 (n=2,717)

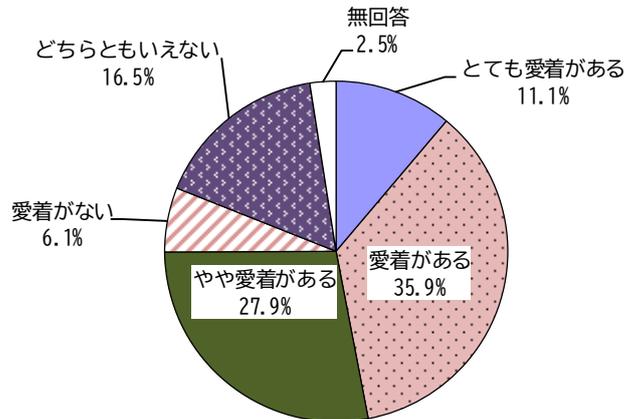


図 2-2 愛着がある理由 (上位5項目) (n=2,036)

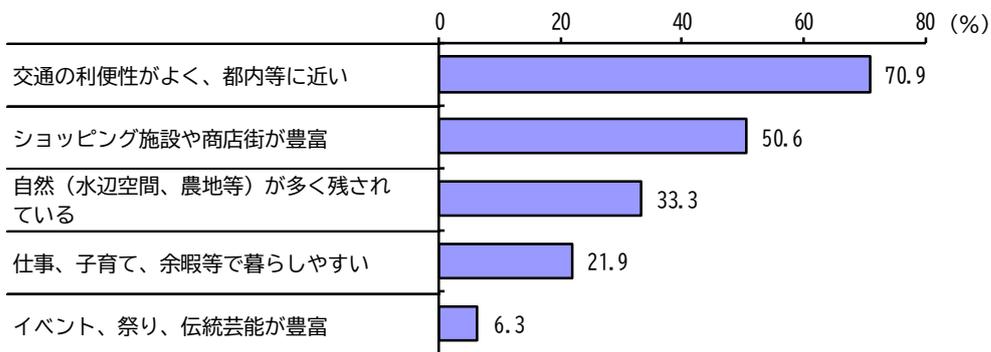
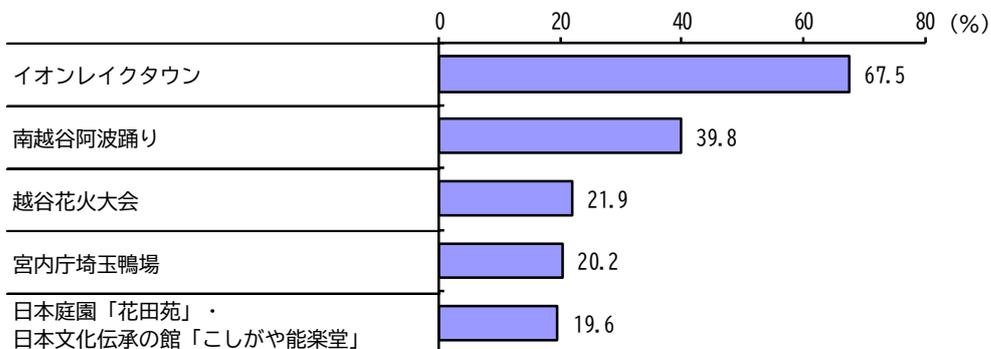


図 2-3 越谷市の誇れるもの (上位5項目) (n=2,717)



3. 広報について

- 市政情報の入手先は、「広報こしがや」が5割半ばで最も多い。
- 市政情報を得るために活用したものは、「広報こしがや」が7割強で最も多い。
- 広報こしがやの感想は、『わかりやすい』（「わかりやすい」と「おおむねわかりやすい」の合計）が7割半ば。
- 広報こしがやのわかりにくい点は、「文字が多すぎる、図が少ない」が約3割で最も多い。
- 紙媒体の広報の必要性について、『紙媒体が必要である』（「インターネットを利用しているが、紙媒体も必要である」と「インターネット未利用のため、紙媒体が必要である」の合計）は8割弱。

図 3-1 市政情報の入手先（上位5項目）
（n=2,717）

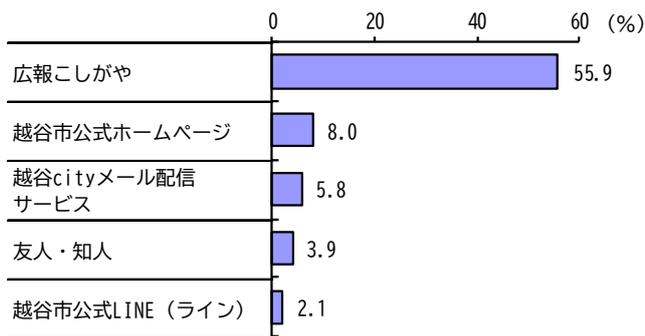


図 3-2 市政情報を得るために活用したもの（上位5項目）（n=2,717）

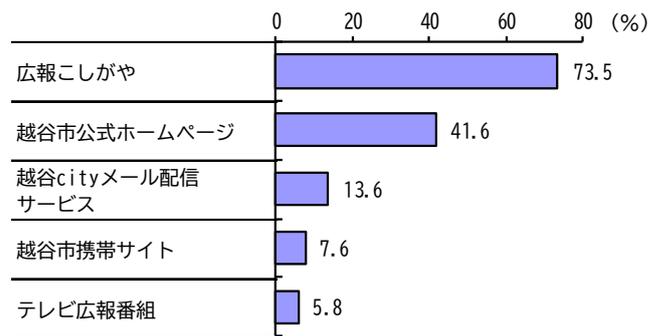


図 3-3 広報こしがやの感想（n=1,997）

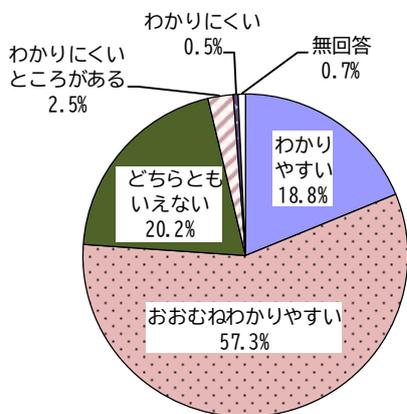


図 3-4 広報こしがやのわかりにくい点（上位5項目）（n=59）

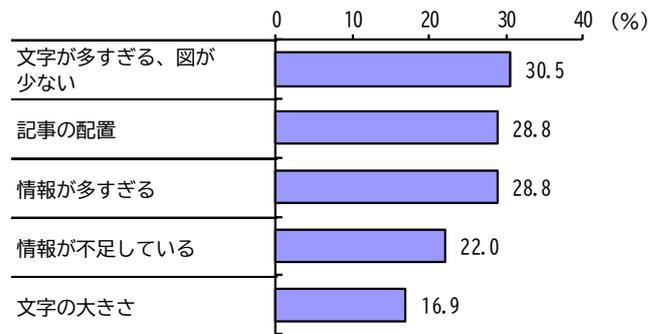
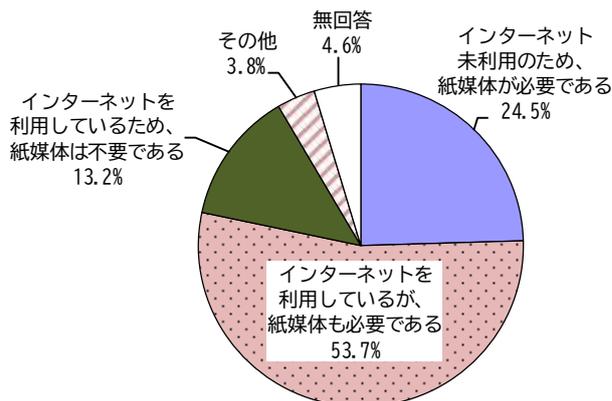


図 3-5 紙媒体の広報の必要性（n=2,717）



4. 市内の公共交通について

- 公共交通の利用状況について、鉄道は「たまに利用している」が3割弱、バスは「全く利用しない」が3割半ば、タクシーは「全く利用しない」が4割強で最も多い。
- 公共交通の満足度について、『満足』（「とても満足している」と「やや満足している」の合計）は鉄道が7割半ば、バスが4割強、タクシーが4割半ば。

図 4-1 公共交通の利用状況 (n=2,717)

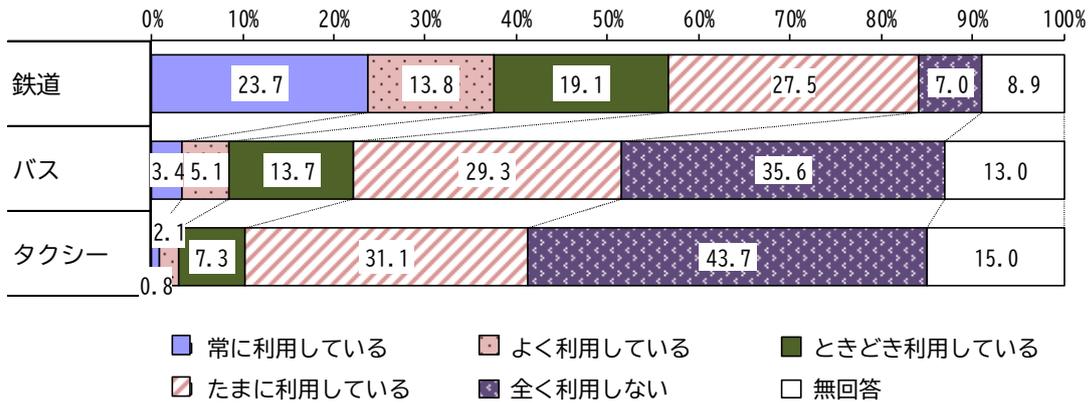
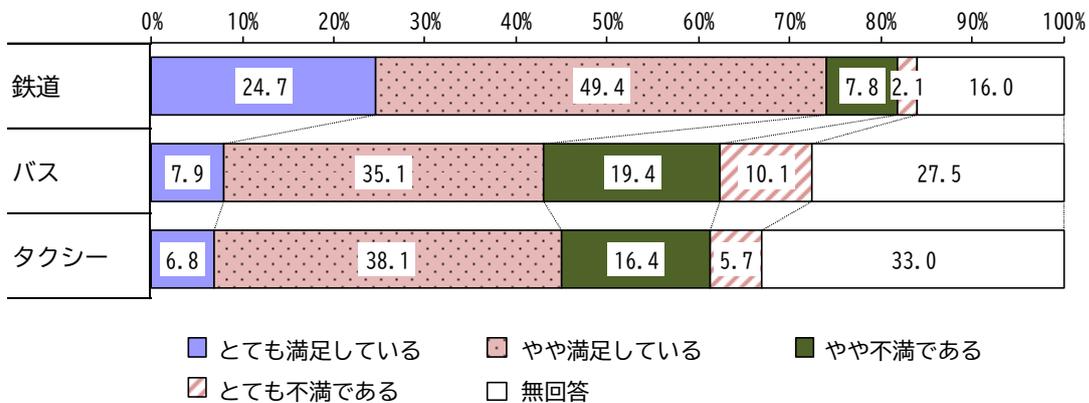


図 4-2 公共交通の満足度 (n=2,717)



5. 景観（風景）について

- 住まいの地区の景観（風景）の満足度は、『満足』（「満足している」と「十分とはいえないが、おおむね満足している」の合計）が7割弱。
- 良い景観（風景）のまちをつくるために行政に望むことは、「良好な景観づくりに役立つ公共事業」が4割半ばで最も多い。

図 5-1 景観（風景）の満足度（n=2,717）

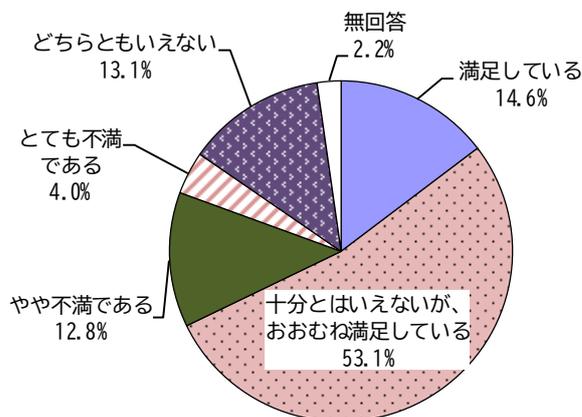
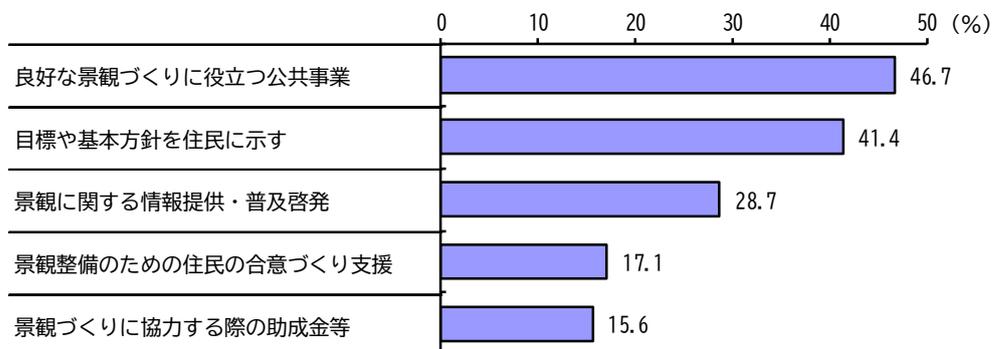


図 5-2 行政に望むこと（上位5項目）（n=2,717）



6. 参加と協働のまちづくりについて

- 「参加と協働のまちづくり」の認知度は、『知っている』（「よく知っている」と「まあまあ知っている」の合計）が1割半ば。
- 「参加と協働のまちづくり」を知ったきっかけは、「広報こしがや」が8割強で最も多い。
- 「参加と協働のまちづくり」への参加意向は、『参加したい』（「参加したい」と「どちらかといえば参加したい」の合計）が3割半ば。
- 「越谷市自治基本条例」の認知度は、『知っている』（「よく知っている」と「まあまあ知っている」の合計）が1割未満。
- 「越谷市自治基本条例」を知ったきっかけは、「広報こしがや」が7割半ばで最も多い。
- 「越谷市自治基本条例」の普及・啓発方法は、「広報こしがやへの情報掲載」が6割強で最も多い。

図 6-1 「参加と協働のまちづくり」の認知度 (n=2,717)

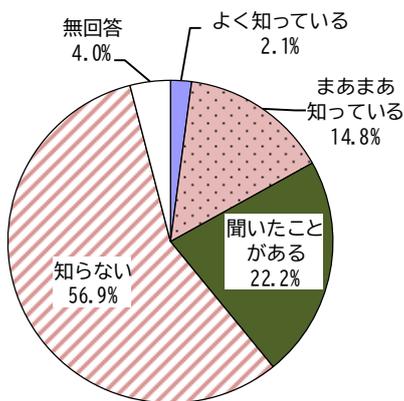


図 6-2 「参加と協働のまちづくり」を知ったきっかけ (上位5項目) (n=1,063)

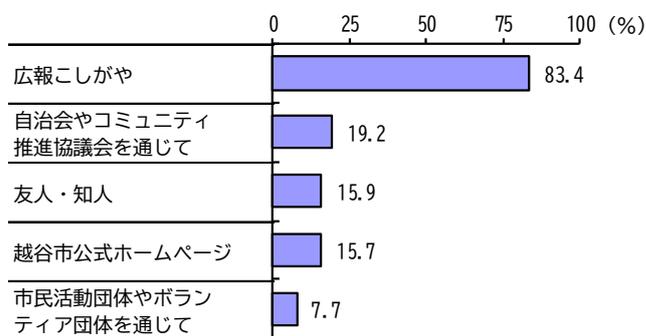


図 6-3 「参加と協働のまちづくり」への参加意向 (n=2,717)

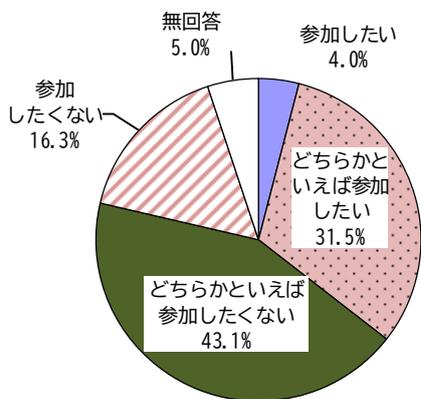


図 6-4 「越谷市自治基本条例」の認知度 (上位5項目) (n=2,717)

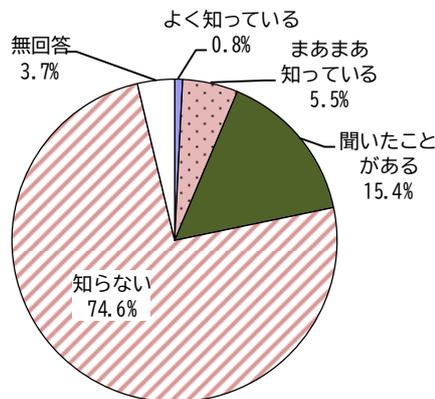


図 6-5 「越谷市自治基本条例」を知ったきっかけ (上位5項目) (n=590)

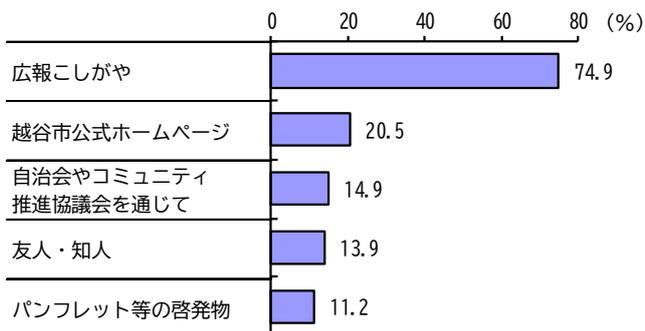
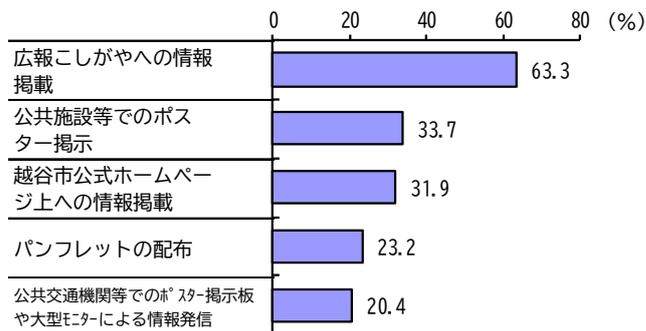


図 6-6 「越谷市自治基本条例」の普及・啓発方法 (上位5項目) (n=2,717)



7. 地場農産物や地産地消について

- 越谷の農業特産物の認知度は、「いちご」が7割半ば、「ねぎ」が約7割、「くわい」が約6割と多くなっている。
- 越谷の農業特産物の購入経験は、「ねぎ」が6割強で最も多い。
- 購入場所は、太郎兵衛もち「市民まつりなどイベント」、くわい、山東菜、いちごは「農産物直売所」、ねぎと小松菜は「市内スーパーマーケット」、チューリップは「市民まつりなどイベント」、「農産物直売所」が最も多い。

図 7-1 越谷の農業特産物の認知度 (n=2,717)

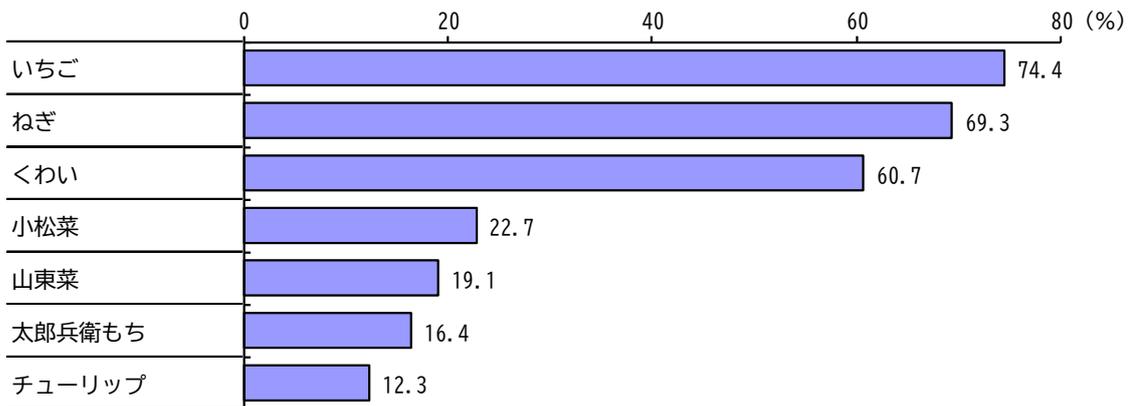
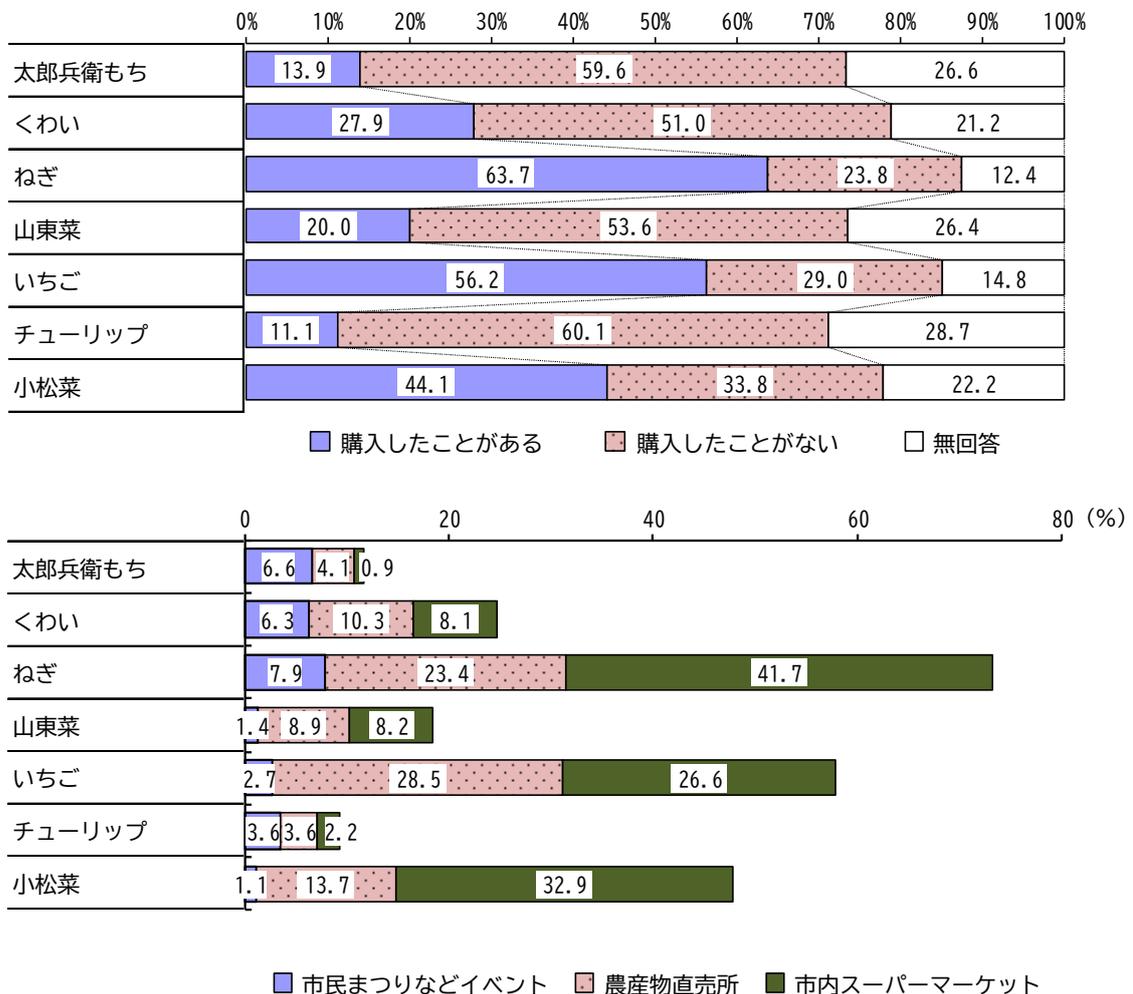


図 7-2 越谷の農業特産物の購入経験・購入場所 (n=2,717)



8. 自殺防止について

- 自殺（自死）したいと考えたことがある（「はい」）のは1割半ば。
- 自殺（自死）したいと考えた理由は、「家庭問題」が約4割で最も多い。
- 自殺（自死）について相談する相手は、「配偶者」が約2割で最も多い。
- 相談窓口を知っている（「はい」）のは約3割。
- 自殺防止に最も効果的な対策は、「健康や病気に関する相談」が2割半ばで最も多い。

図 8-1 自殺（自死）したいと考えたこと
(n=2,717)

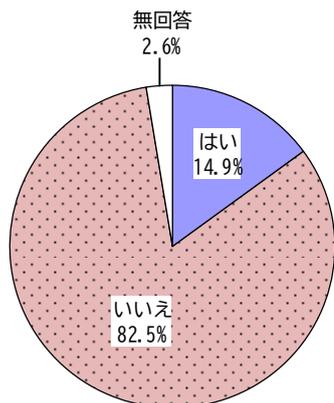


図 8-2 自殺（自死）したいと考えた理由
(上位5項目) (n=406)

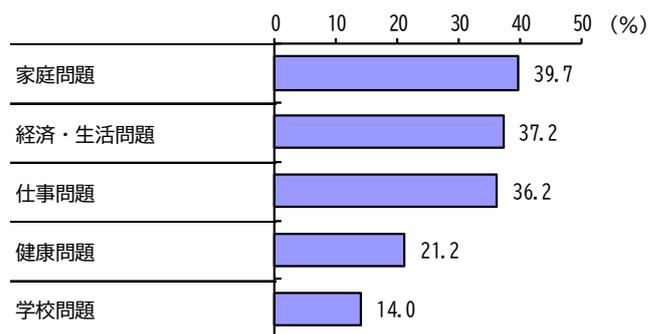


図 8-3 自殺（自死）について相談する相手
(上位5項目) (n=2,717)

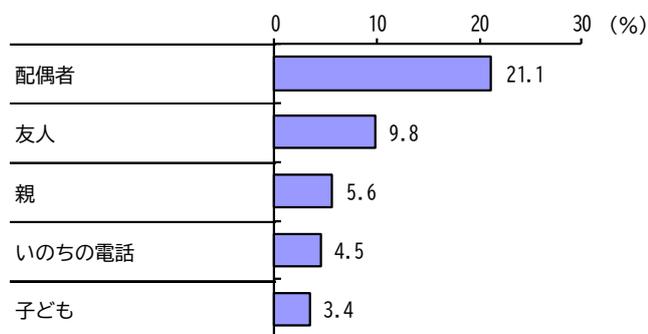


図 8-4 自殺（自死）に関する相談窓口の
認知度 (n=2,717)

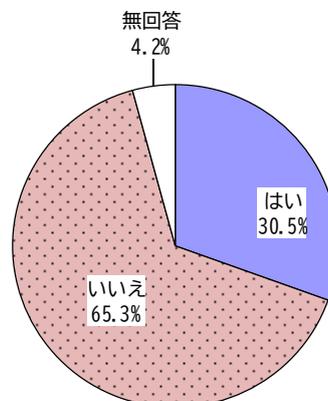
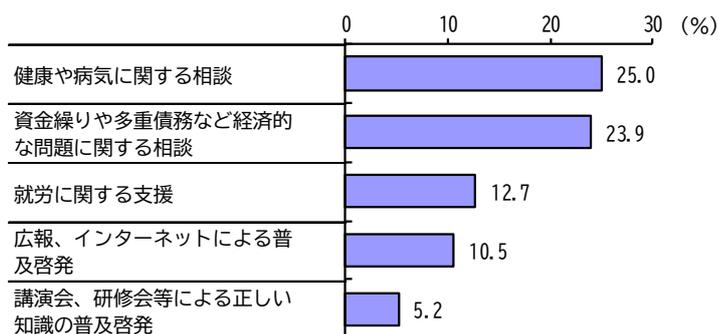


図 8-5 自殺防止に最も効果的な対策 (上位5項目) (n=2,717)



9. 地域医療体制について

- 地域医療体制の認知度について、『知っている』（「利用したことがある」と「利用したことはないが知っている」の合計）は、「越谷市夜間急患診療所」が8割強、「休日当番医制度」が7割強、「埼玉県救急電話相談（＃7119）」が5割強、「埼玉県A I 救急相談」が1割半ば。
- 医療機関の情報の入手方法は、「インターネットで調べる（越谷市・埼玉県公式ホームページを除く）」が4割半ばで最も多い。
- 特に力を入れる必要がある地域医療関連事業は、「夜間急患診療所」が5割強で最も多い。

図 9-1 地域医療体制の認知度 (n=2,717)

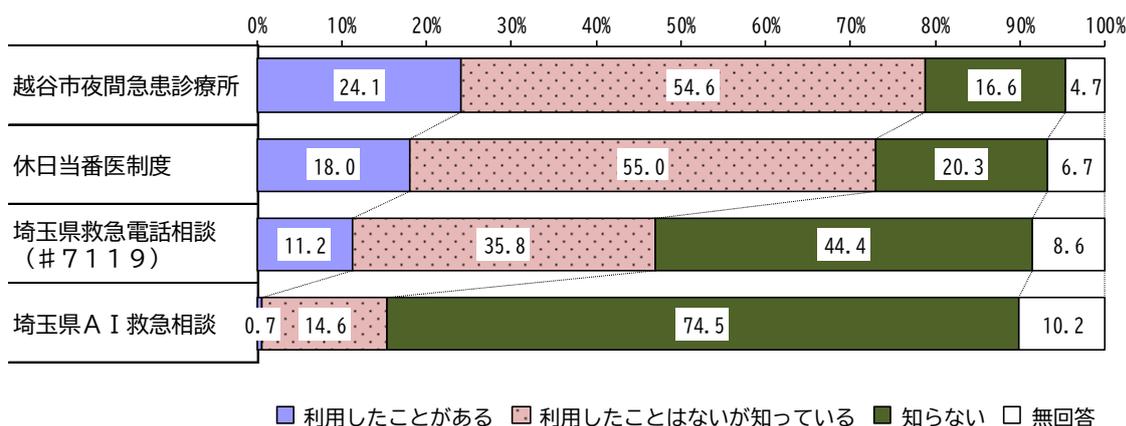


図 9-2 医療機関の情報の入手方法 (上位5項目) (n=2,717)

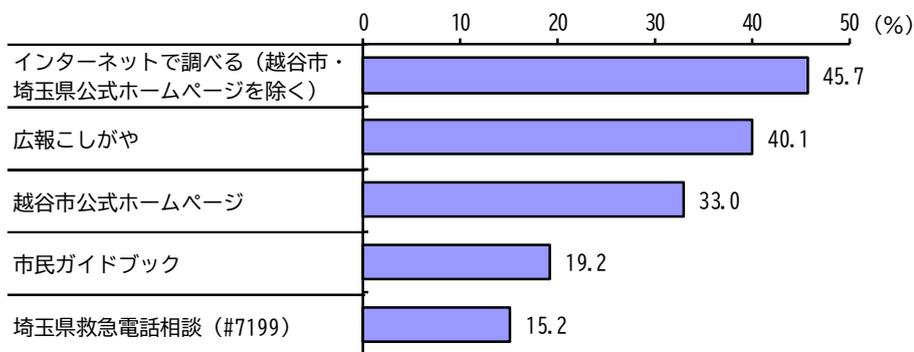
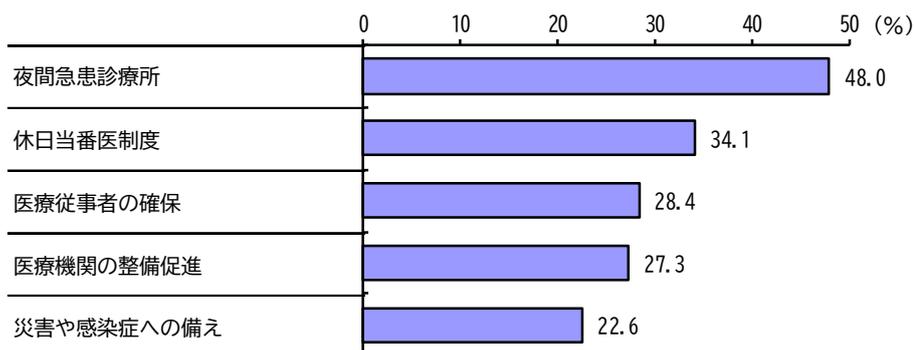


図 9-3 特に力を入れる必要がある地域医療関連事業 (上位5項目) (n=2,717)



10. 人権全般に関する意識について

- 基本的人権の意識について、『尊重されている』（「十分尊重されている」と「やや尊重されている」の合計）が6割強。
- 10年前と比べた人権意識の変化について、『高くなっている』（「非常に高くなっている」と「やや高くなっている」の合計）は5割弱。
- 関心のある人権問題は、「インターネット上における人権問題」が約4割で最も多い。
- 人権が侵害されたと感じたことは、「ある」が約2割、「ない」が約5割。
- 人権侵害を感じた内容は、「あらぬ噂を立てられたり、他人から悪口や陰口を言われた」が5割半ばで最も多い。

図 10-1 基本的人権の意識 (n=2,717)

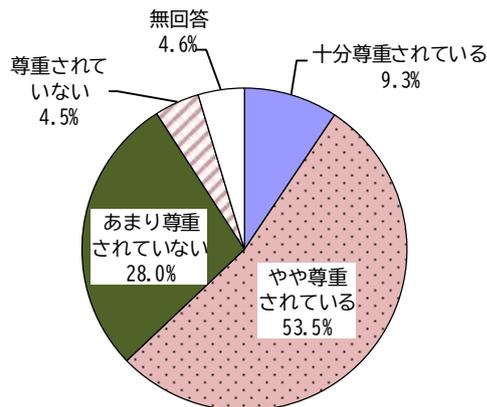


図 10-2 人権意識の変化 (n=2,717)

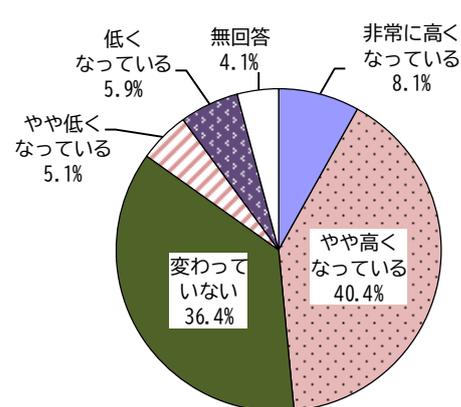


図 10-3 関心のある人権問題 (上位5項目) (n=2,717)

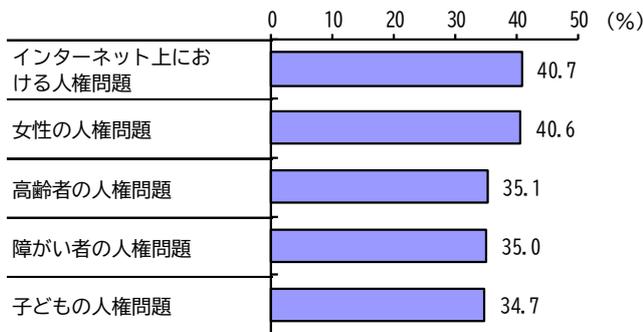


図 10-4 人権侵害を感じたこと (n=2,717)

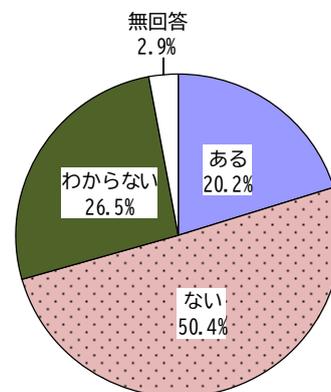
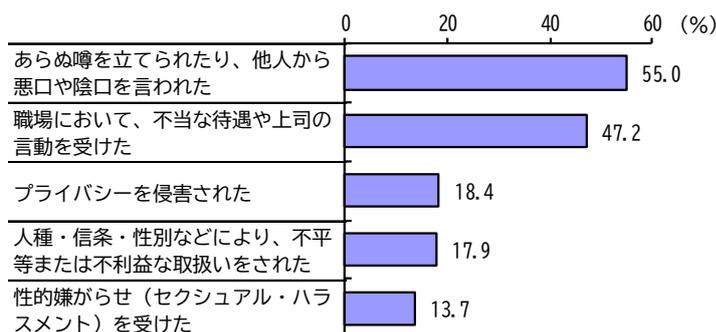


図 10-5 人権侵害を感じた内容 (上位5項目) (n=549)



11. 男女共同参画について

- 男性の育児・介護・看護休暇取得制度活用について、「男性も育児休業・介護休暇・子の看護休暇を取ることは賛成だが、現実的には取りづらいと思う」が6割弱で最も多く、「男性も育児休業・介護休暇・子の看護休暇を積極的に取るべきである」と合わせた『取ることに賛成』は9割強、うち6割弱が「現実的には取りづらい」と考えている。
- 男性が育児・介護のための長期休暇を取得しない理由は、「職場や周囲に休みにくい雰囲気があるから」が約6割で最も多い。

図 11-1 男性の育児・介護・看護休暇取得制度活用をどう思うか (n=2,717)

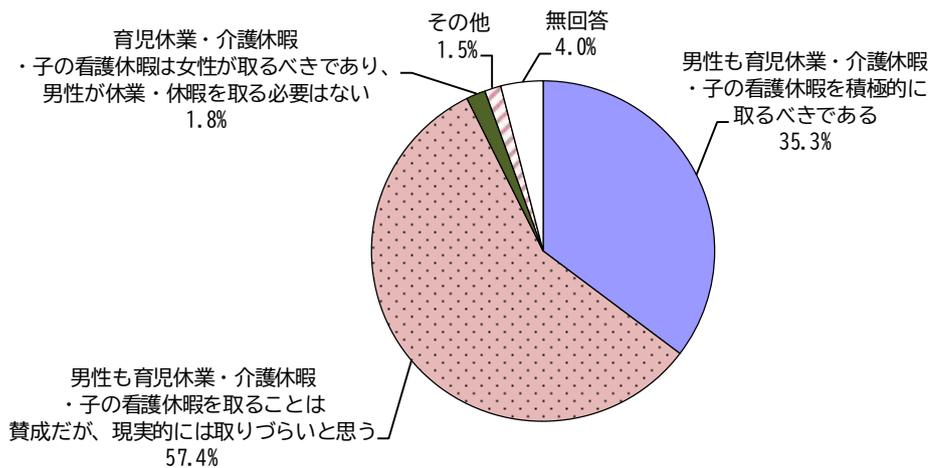
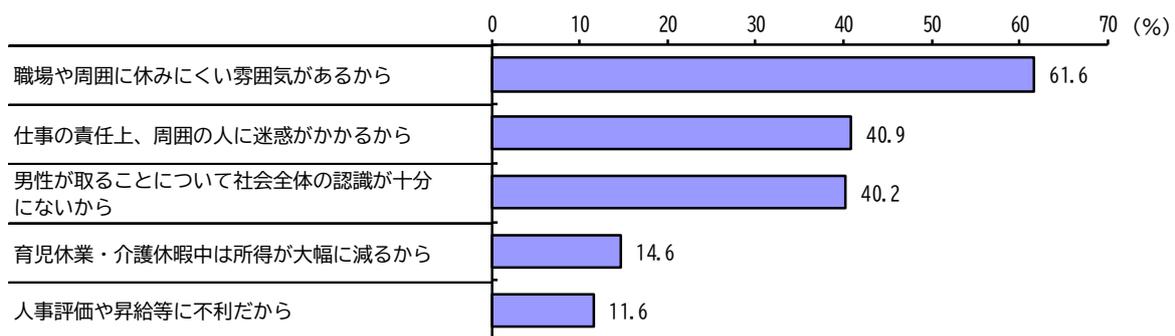


図 11-2 男性が育児・介護のための長期休暇を取得しない理由 (上位5項目) (n=2,717)



- 男女がともに仕事と家庭を両立するための条件は、「育児休業・介護休暇制度を利用できる職場環境を整備すること」が約6割で最も多い。
- 日常生活のなかでの優先度について、優先したいと希望するものは「仕事」と「家庭生活」の両方が3割弱、現実に優先しているものは、「家庭生活」が3割で最も多い。
- 政治・行政分野で女性の参画が少ない理由は、「男性優位の組織運営」が6割弱で最も多い。

図 11-3 男女がともに仕事と家庭を両立するための条件（上位5項目）（n=2,717）

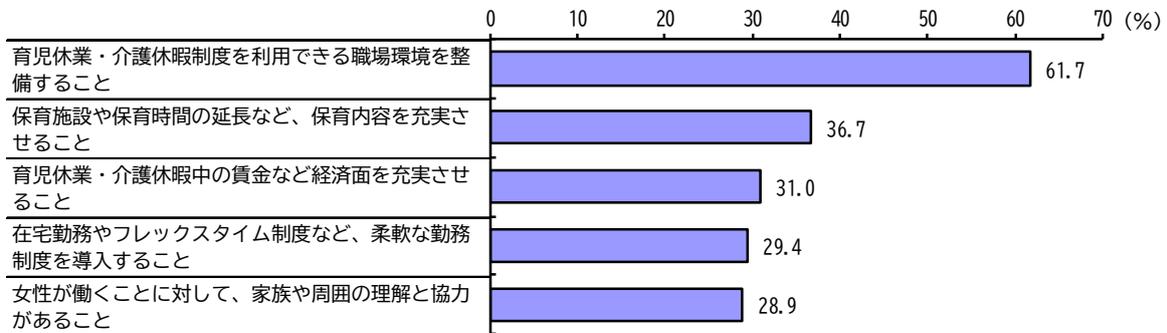


図 11-4 日常生活のなかでの優先度（希望と現実の比較）（n=2,717）

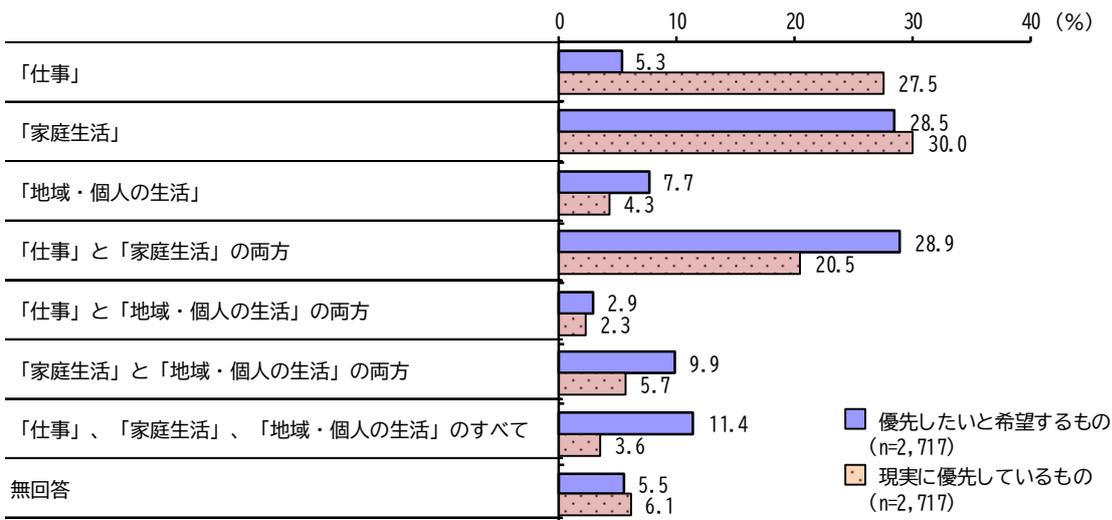
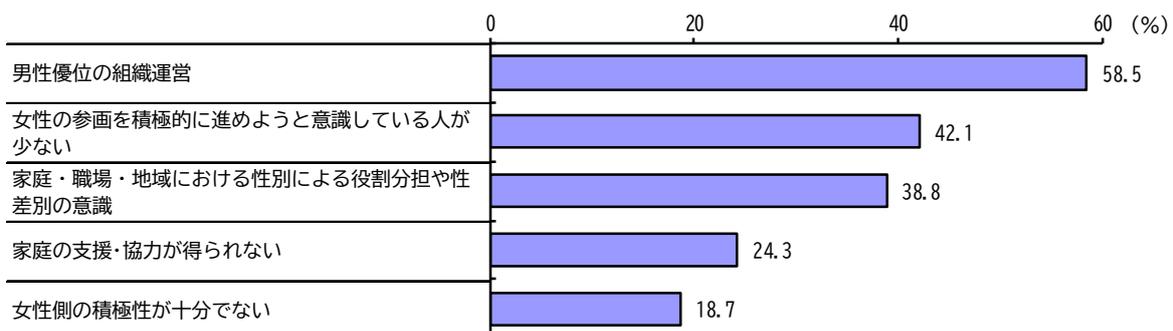


図 11-5 政治・行政分野で女性の参画が少ない理由（上位5項目）（n=2,717）



12. 成年年齢引下げについて

- 成年年齢引下げの認知度について、9割強が成年年齢の引き下げを知っている。
- 18歳になったらできることは「親の同意がない契約（ローンを組む、クレジットカードの作成等）」が8割弱で最も多い。
- 20歳にならないとできないことは「飲酒」が9割強で最も多い。
- 消費者トラブルに関する相談先の認知度について、約5割が消費者トラブルに関する相談先を知っている。
- 知っている相談先は、「越谷市立消費生活センター」が7割弱で最も多い。

図 12-1 成年年齢引下げの認知度 (n=2,717)

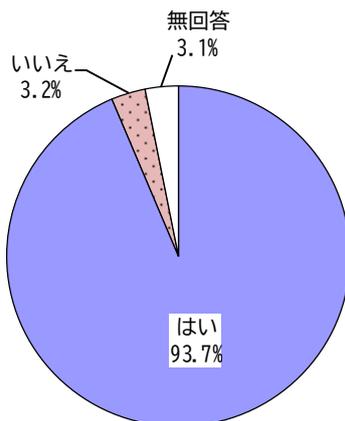


図 12-2 18歳からできること (n=2,545)

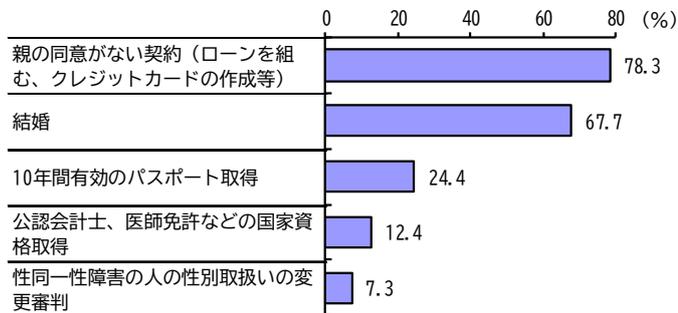


図 12-3 20歳にならないとできないこと (n=2,545)

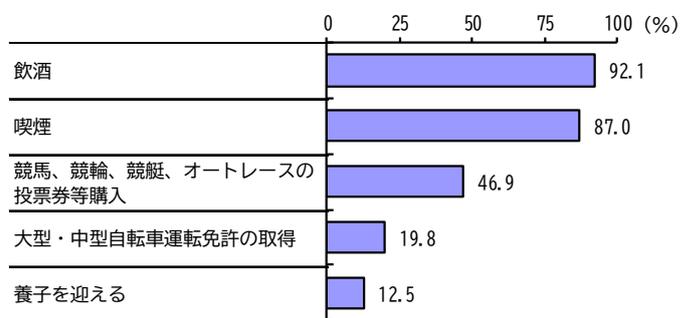


図 12-4 消費者トラブルに関する相談先の認知度 (n=2,717)

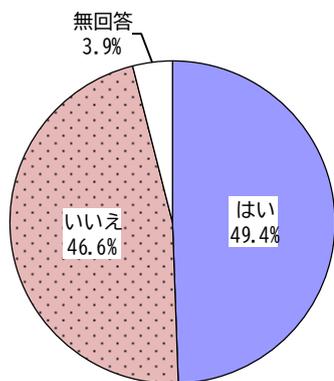
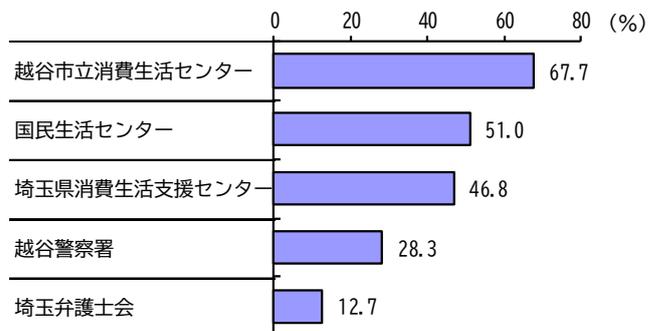


図 12-5 知っている相談先 (n=1,343)



13. 防犯カメラについて

- 防犯カメラのイメージは「犯罪抑止による安心感がある」が約5割で最も多い。
- 防犯カメラを設置してほしい場所は、「人や車の通りが少ない道路（周りに家などが無い道路など）」が4割半ばで最も多い。
- 防犯カメラの設置数は「増設してほしい」が8割弱で最も多い。

図 13-1 防犯カメラのイメージ (n=2,717)

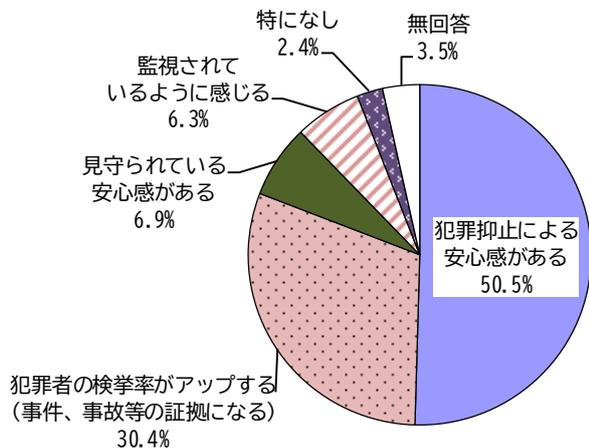


図 13-2 設置してほしい場所 (n=2,717)

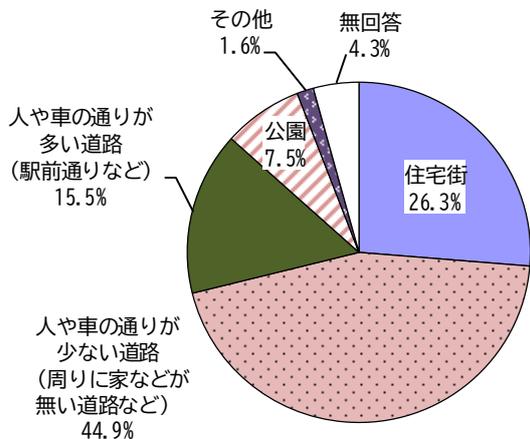
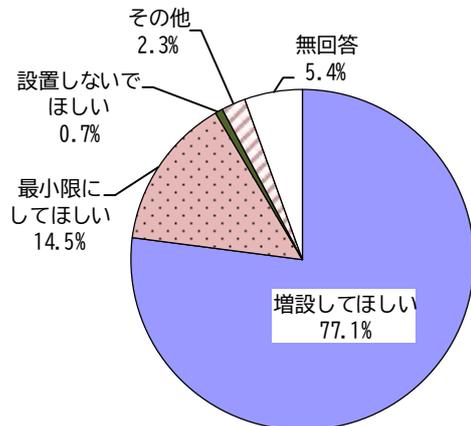


図 13-3 設置数 (n=2,717)



14. スポーツ・レクリエーションの実施状況について

- この1年間のスポーツ・レクリエーション活動の実施状況は、『週に1回以上』（「週に3回以上」と「週に1～2回程度」の合計）は4割半ば。
- 活動を行った主な理由は、「運動不足解消」が約7割で最も多い。
- 行っていない理由は、「仕事（家事、育児も含む）や勉強が忙しいから」が4割弱で最も多い。
- 今後、行ってみたいと思う活動について、比較的軽いスポーツは「ウォーキング」が約4割、野外活動は「ハイキング」が2割強、競技的スポーツは「バドミントン」が1割強で最も多い。

図 14-1 スポーツ・レクリエーション活動の実施状況 (n=2,717)

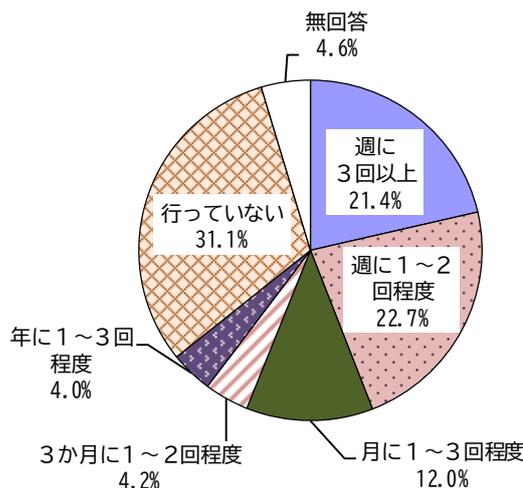


図 14-2 スポーツ・レクリエーション活動を行った主な理由 (上位5項目) (n=1,745)

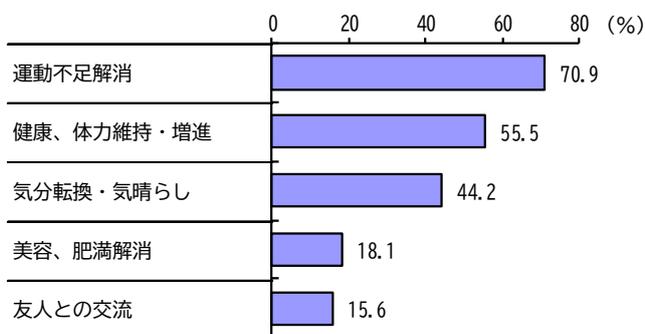


図 14-3 スポーツ・レクリエーション活動を行っていない理由 (上位5項目) (n=846)

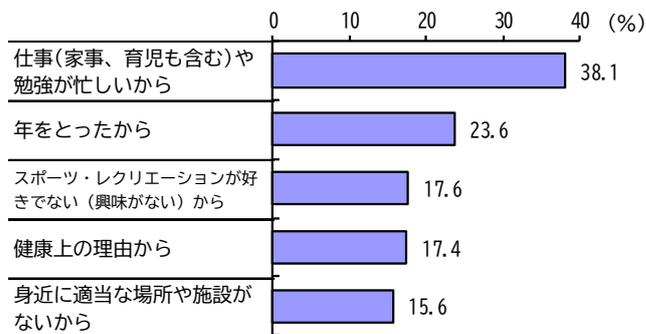
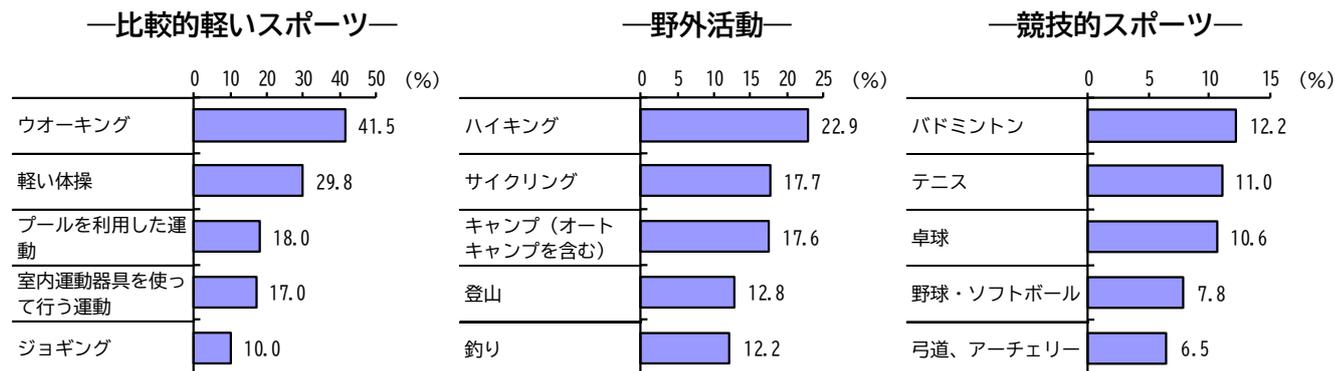


図 14-4 今後、行ってみたいと思うスポーツ・レクリエーション活動 (上位5項目) (n=2,717)



15. 芸術文化活動について

- 日常的に実施している芸術文化活動は、「音楽」が3割弱で最も多い。
- 市が主催する芸術文化事業の認知度・参加状況について、『知っている』（「参加（出演、出展、観覧、応募）したことがある」と「知っているが、参加（出演、出展、観覧、応募）したことがない」の合計）は、「越谷市市民文化祭」が約5割で最も多い。
- 市が主催する芸術文化事業に参加したことがない理由は、「仕事（家事、育児を含む）や勉強が忙しいから」が2割強で最も多い。

図 15-1 日常的に実施している芸術文化活動（上位5項目）（n=2,717）

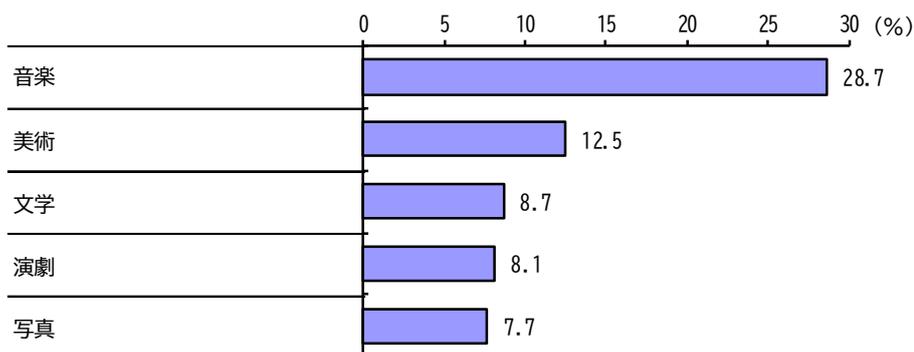


図 15-2 市が主催する芸術文化事業の認知度・参加状況（n=2,717）

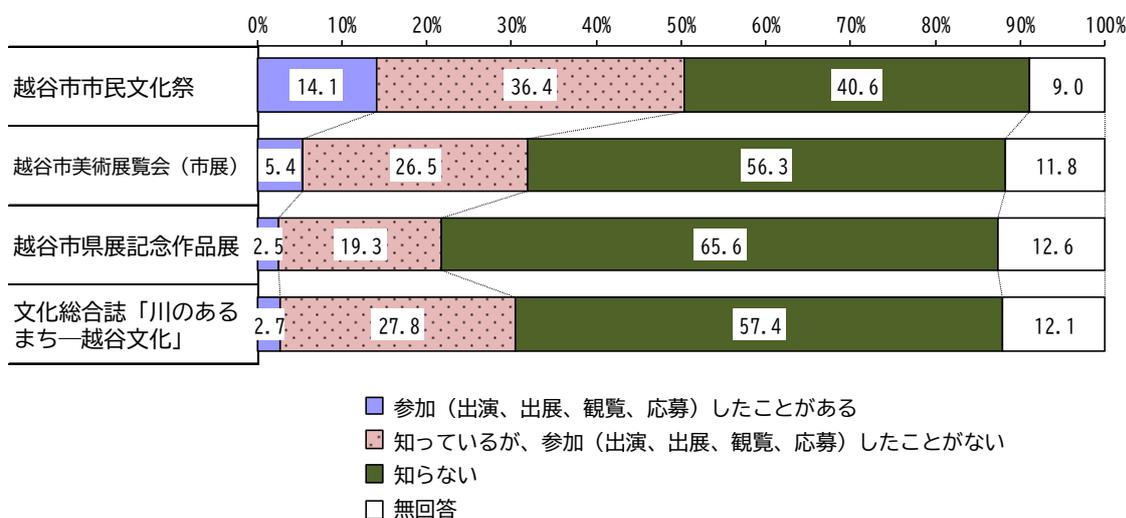
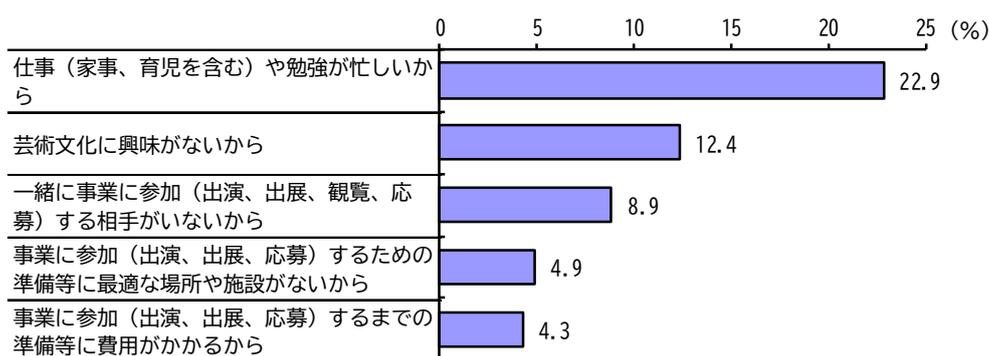


図 15-3 市が主催する芸術文化事業に参加したことがない理由（上位5項目）（n=1,258）



16. 介護サービスについて

- 介護サービスの利用時に事業・事業所・職員に求めるものについて、事業の形態は「地域に密着した事業展開をしている施設（市内在住者のみ利用できる施設）」が約4割で最も多い。
- 事業所の体制は「職員のスキル向上や知識の取得に力を入れている」が5割半ばで最も多い
- 職員の資質は「利用者の話をしっかり聞く」が5割強で最も多い。

図 16-1 介護サービスの利用時に事業の形態に求めるもの (n=2,717)

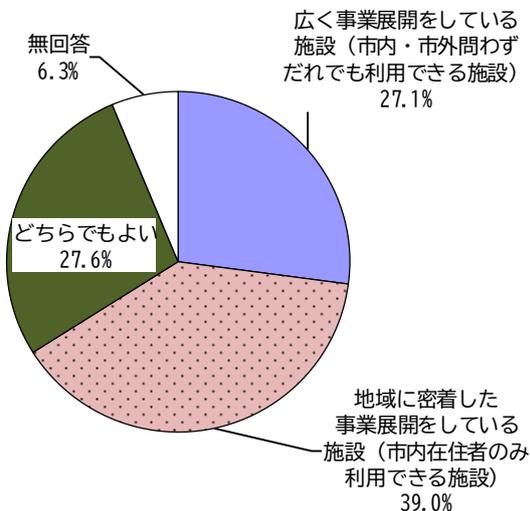


図 16-2 介護サービスの利用時に事業所の体制に求めるもの (n=2,717)

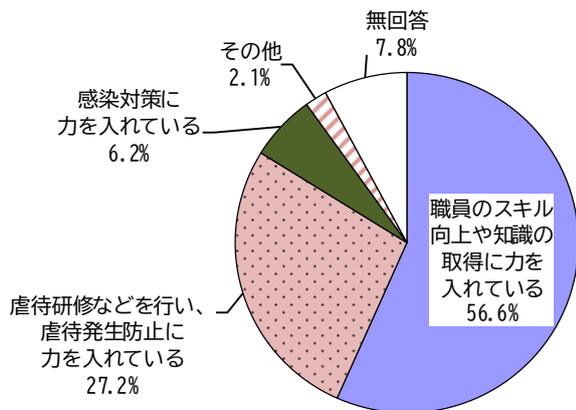
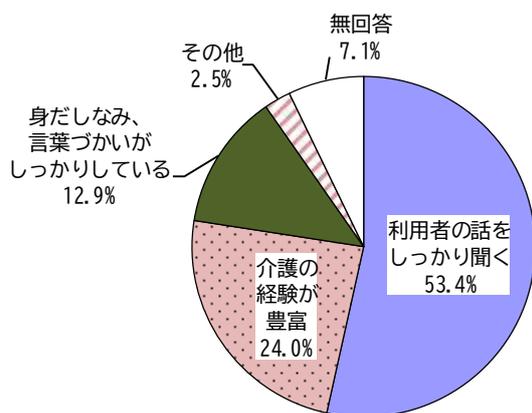


図 16-3 介護サービスの利用時に職員の資質に求めるもの (n=2,717)



17. 子育て支援について

- 子育て支援に関する情報入手先は、「広報こしがや」が4割半ばで最も多い。
- 子育て支援に関する情報取得が難しいと感じたことが「ある」は約2割。
- 子育て支援に関する情報が得にくい理由は、「情報を得る窓口や講座などが少ない」が約5割で最も多い。

図 17-1 子育て支援に関する情報入手先 (n=2,717)

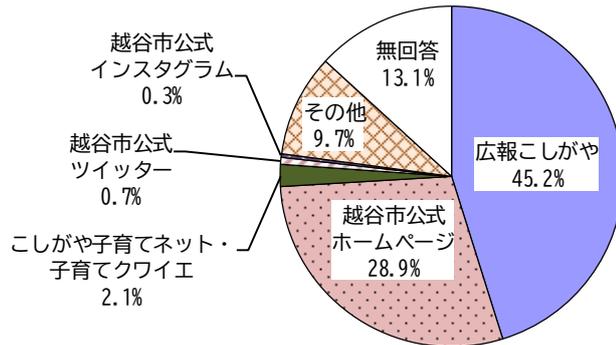


図 17-2 子育て支援に関する情報取得が難しいと感じたこと (n=2,717)

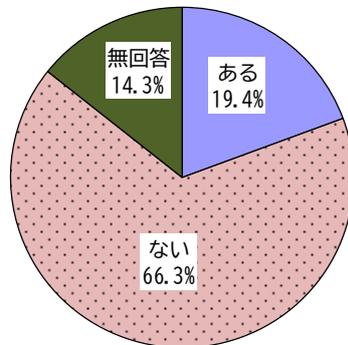
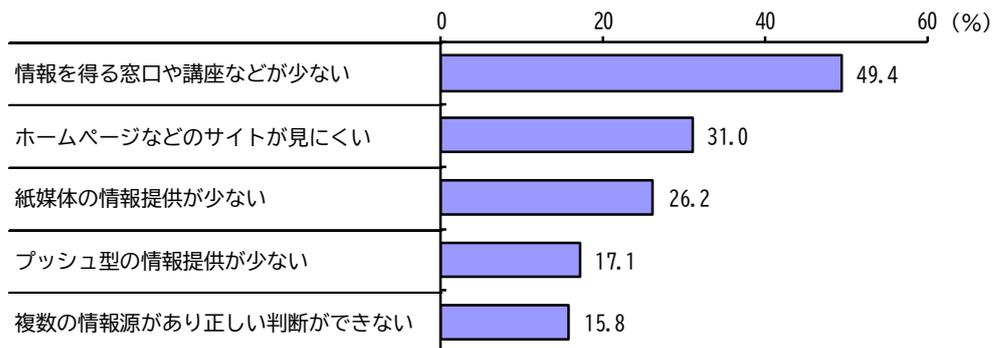


図 17-3 子育て支援に関する情報が得にくい理由 (上位5項目) (n=526)



18. 自治会について

- 自治会の加入状況は、「加入している」が7割弱。
- 自治会に加入した理由は、「加入するのが当然だと思うため」が約6割で最も多い。
- 参加している自治会活動は、「町内清掃などの環境美化活動」が約5割で最も多い。
- 自治会に加入して感じている点は、「地域に顔見知りができ安心感がある」が4割半ばで最も多い。

図 18-1 自治会の加入状況 (n=2,717)

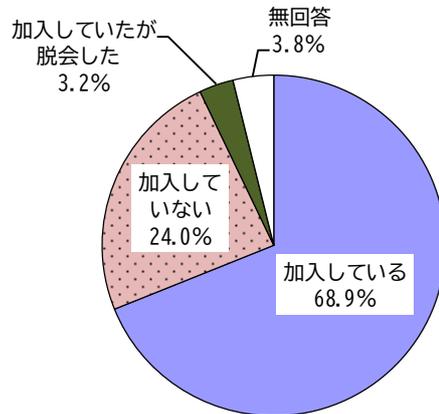


図 18-2 自治会に加入した理由 (上位5項目)

目)

(n=1,872)

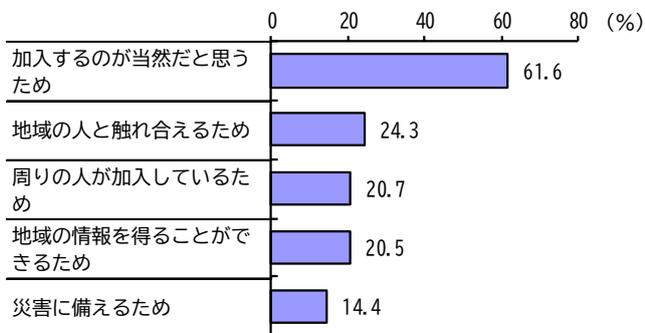


図 18-3 参加している自治会活動 (上位5項目)

(n=1,872)

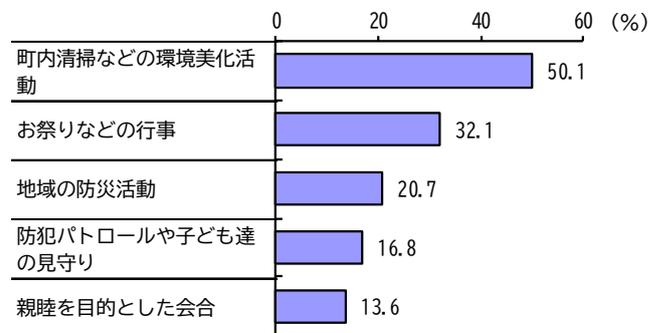
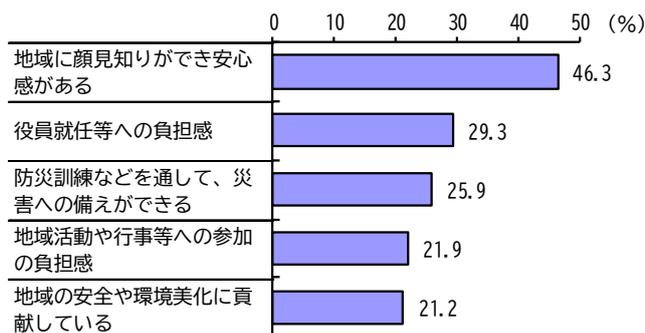


図 18-4 自治会に加入して感じている点 (上位5項目) (n=1,872)



- 自治会に加入しない理由は、「加入しなくても困らないため」が3割半ばで最も多い。
- 自治会に加入するために必要だと思うことは、「仕事や家事にゆとりがあること」が約5割で最も多い。
- 自治会への加入意思は、「加入したくない」が5割半ばで最も多い。
- 自治会を脱会した理由は、「自治会に加入しているメリットが感じられなかった」が約6割で最も多い。

図 18-5 自治会に加入しない理由（上位5項目）
（n=653）

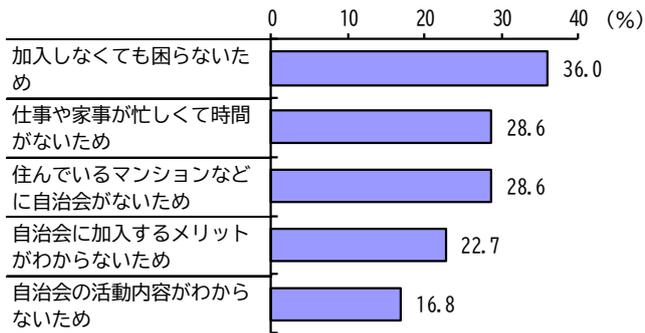


図 18-6 自治会に加入するために必要だと思うこと（上位5項目）（n=653）

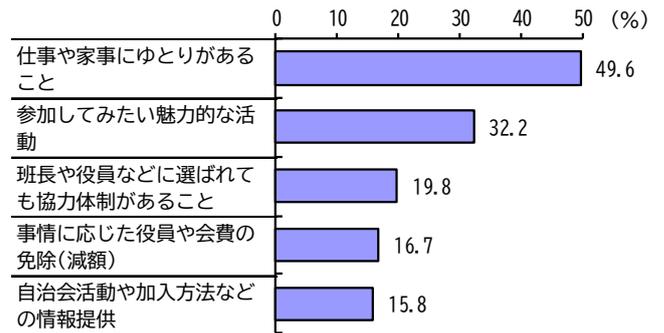


図 18-7 自治会への加入意思（n=653）

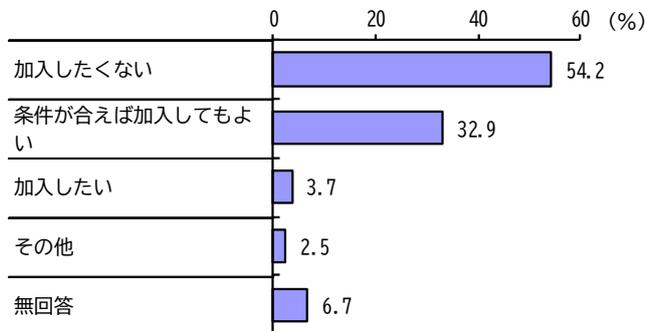
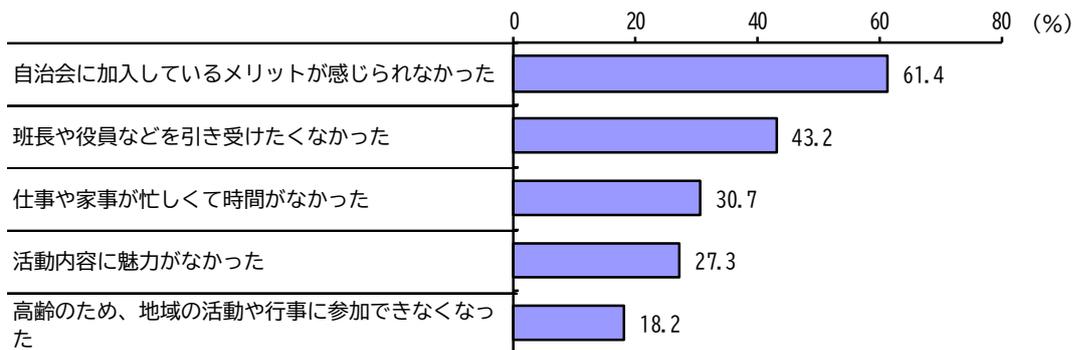


図 18-8 自治会を脱会した理由（上位5項目）（n=88）



19. 越谷市の施策について

- 市の施策について、ここ数年のうちで「よくなってきたと感じるもの」は、「駅周辺の整備」が3割弱で最も多い。
- 今後の市政の中で「特に力を入れるべきだと思われるもの」は、「防犯対策」が3割弱で最も多い。

図 19-1 よくなってきたと感じるもの
(上位 10 項目) (n=2,717)

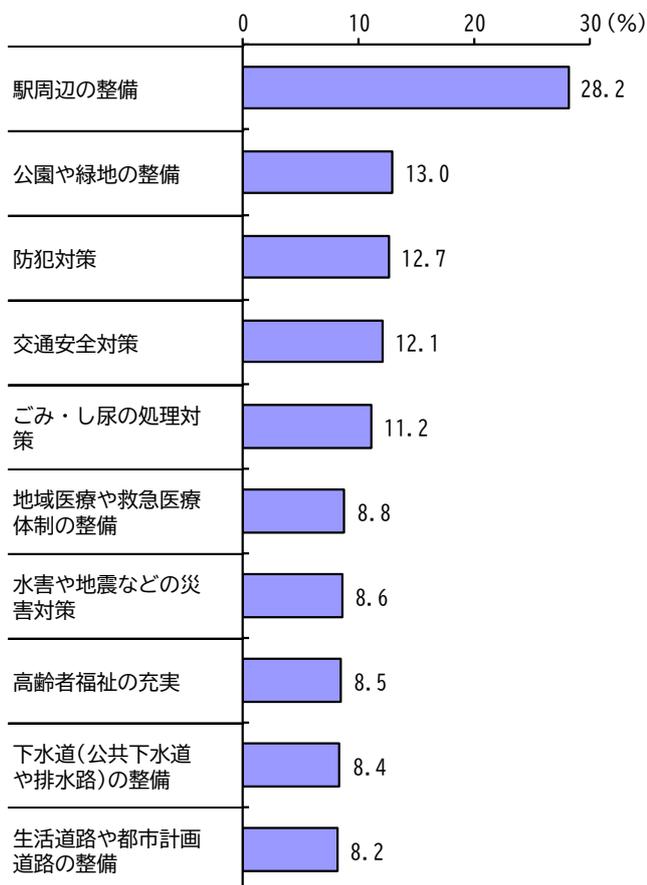
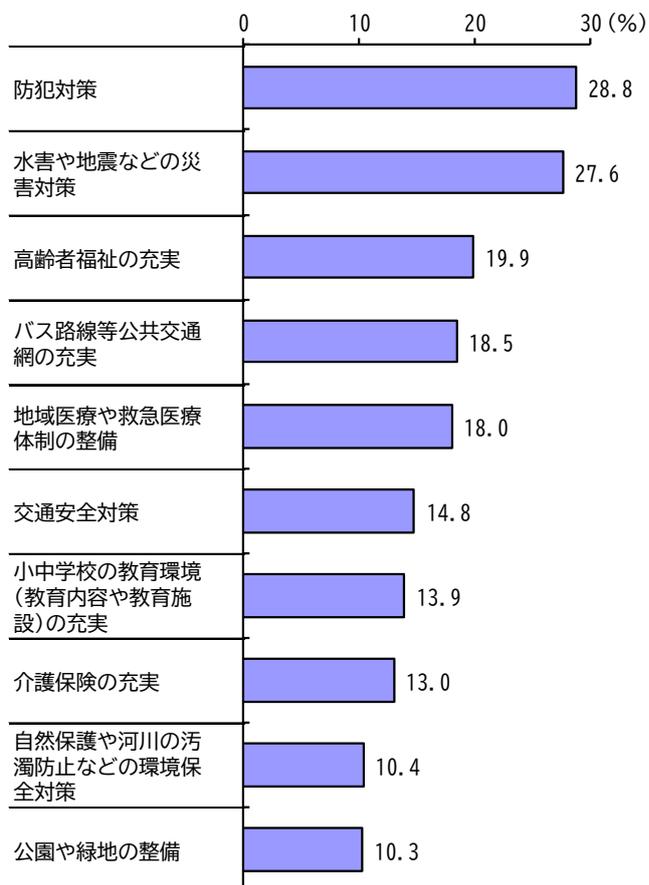


図 19-2 特に力を入れるべきだと思われるもの
(上位 10 項目) (n=2,717)



令和4年度 市政世論調査報告書 概要版

令和4年11月

発行：越谷市 市民協働部 くらし安心課
〒343-8501 埼玉県越谷市越ヶ谷四丁目2番1号
電話 048(963)9336(直通)

調査実施：株式会社アイアールエス
〒160-0004 東京都新宿区四谷三丁目1番3号
電話 03(3357)7181
